



Samurai  
ALOHA  
made in Japan

## 「和魂再生洋才」

明治の初め、「和魂洋才」という言葉が生まれました。日本の伝統を大切にしながらも、西洋から伝来した技術を巧みに取り入れながら革新を志す精神からこの言葉は生まれました。私たちは着物がもつ物語一つ一つ紐解きながら、再び様相としてその美しさを黄泉がえらせることをモットーに和魂再生洋才というコンセプトをブランドの根幹に据えております。

今なお、東北の各地に眠る着物は日本の生活美が生み出した文化の結晶です。現代では着られる機会が少なくなった着物に、新たな息吹を吹き込み、シン・ジャポニズムのスタイルの新たな魅力とともに、そのご縁をつないでゆきたい、というのがサムライアロハの願いです。



アロハシャツの原点は着物のリメイクに遡ることをご存知でしょうか。十九世紀の終わりから二十世紀初頭、移民としてハワイへと渡った日本人が現地でサトウキビ農園で働く際に人々が着用していたパルカと呼ばれる開襟シャツを手本にして自分たちの手持ちの着物解きほぐし、仕立て直したことが起源と言われています。



サムライアロハでもそんなアロハシャツの持つ物語を大切に、一着の着物からお仕立てするアロハシャツは一枚のみとさせて頂いておられます。それは単なる生地での再生ではなく、一つの物語としてアロハをお届けし、みなさまにその息吹をつないでいただきたいという私たちの想いです。



アロハに再生されるお着物はその選び出し、洗い、ほどこき、裁断のすべてを一つ一つ心を込めて手作業で行っております。手仕事を担っているのは、宮城県のお母さんたちです。待機児童問題を抱える宮城で、お母さんたちが小さなお子さんと一緒にご自宅ですてくくださる丁寧な手仕事がこのサムライアロハを形作っています。裁断を終えた生地は福島を中心とした東北の縫製工場へと送られ、日本の確かな技術で仕立てられたのち丁寧に梱包されて、新たな良縁を求めてお客様の手元に渡ります。



サムライアロハは仙台市を拠点として東北復興の希望と和のこころの再生と革新を担うブランドです。ふるくから、日本で、ハワイで、東北で育まれてきた文化とまごころを鮮やかなシャツとともにみなさまにお届けいたします。

